

インテリア製図（インテリア類型）

教 科	工業（建築インテリア）	単位数	3	学科・学年	建築インテリア科 2年
使用教科書	インテリア製図（実教出版）				
副教材等	担当教員が配布するプリント				

「製図」はどんな科目？

物づくりにおいて、一番大切なものの一つが図面です。企画者が考えた製品を、企画者の思いのままに製作するために必要不可欠なのが図面。その図面をかくために必要な基礎・基本を学習するのが製図です。

「製図」の学習の特徴は？

図面に関する決まりやかき方を、実際の図面をかきながら体験的に学習していきます。

「製図」で大切なこと（留意点）は？

正確で美しい図面をかくことも大切ですが、一番大切なことは「提出期限」を守ることです。

1. 学習の計画（どのような内容を、どの時期に学ぶのかを含む。）

	月	学 習 内 容（単元名）	学 習 の ね ら い
1 学 期	4	・三面図の理解	<ul style="list-style-type: none"> ・1年次の復習として、三面図を用いて立体を平面で表す基礎を学習し、技術を学習する。 ・各種の組み継ぎを図面にして学習する。 ・住宅家具の図面のかき方を学習する。
	5		
	6	・打付継ぎの製図	
	7	・組み継ぎの製図 ・住宅用製図	
2 学 期	9	・住宅用製図	<ul style="list-style-type: none"> ・住宅家具の図面のかき方を学習する。 ・複雑な形状の椅子・家具をかき、フリーハンドの基本的な表し方について学習する。 ・住宅家具（大きい家具）の図面のかき方を学習する。 ・曲面の多い家具の図面のかき方を学習する。
	10	・洋式家具（伝統家具）	
	11		
	12	・食器棚の製図 ・オフィス家具	
3 学 期	1	・ホテル用家具	<ul style="list-style-type: none"> ・ホテル家具の図面のかき方を学習する。 ・複雑な構造を理解し、製図の手順について学習する。
	2		
	3		

2. 評価の観点・方法（及び年間の評定）

評価は、次の4つの観点から行います。

関心・意欲・態度	家具製図に関心を持ち、その知識と技術技能の習得に意欲的に取り組む姿勢、態度を身につける。	・授業準備 ・授業態度 ・出席状況
思考・判断・表現	家具製図の基礎から応用の思考を深め、図面を正確に読め判断できるとともに、実際に活用できる技法で図面が作成され表現できる。	・質疑応答 ・実技状況
技能	家具製図が正確に読み取れ、基礎から応用まで図面の構想を行い、正確で丁寧な作図が出来る。	・作品の完成度 ・正確さと丁寧さ
知識・理解	家具製図の基礎からその知識と技術の技法を正しく理解し、応用できる能力を身につけている。	・質疑応答 ・実技状況

このため、評価は、具体的には次のものを対象とします。

- ① 授業態度 ② 作品評定（正確に・美しく・はやく） ③ 提出状況

また、1年間の評定は、1学期～3学期の年間を通じて、上記の内容を総合的に判断して評価します。

3. 特に強調しておきたい点（留意すべき点・担当者からのメッセージを含む。）

普段の授業が大切です。真剣に取り組み、作品の提出日を守ってください。